

●受難節第一主日

泉のほとり

今月の詩編「第三十編」

主よ、あなたをあがめます。

あなたは敵を喜ばせることなく

わたしを引き上げてくださいました。



見えると言っているから罪は残る

生まれつき目が見えない人について「だれの罪が原因でそうなったのか」と尋ねる弟子たちに、主は「本人の罪でも両親の罪でもない。神の業がこの人に現れるためである」と語られました。主はその人に近づき、地面に唾をし、唾で土をこねて彼の目に塗りました。そして「シロアムの池に行つて洗いなさい」と言われました。

彼は行つて洗い、目が見えるようになって帰つて来たのです。人々はいつても同じ場所にいたその盲人が、今見えている姿で立っているの、「この人は、座つて物乞いをしていた人ではないか」、「その人だ」、「いや違う。似ているだけだ」と言っていたのです。彼が「私がその人です」と答えると、「では、あなたの目はどのようにして開いたのか」と聞かれたので、「イエスという方が、土をこねて私の目に塗り、「シロアムに行つて洗いなさい」と言われました。行つて洗つたら、見えるようになったのです」と答えたのです。

ところが、それを聞いたユダヤ人たちは彼をファリサイ派の人たちへ連れて行つたのです。主がその人の目を開けられたのが安息日だったからです。特に神は六日目に土で人を造られ、七日目に安息なさつたゆえに、安息日には「土をこねる」ようなことをしてはならない、と。

ファリサイ派の人たちは「目を開けてくれたということだが、あなたはあのイエスという人をどう思うか」、「神の前で正直に答えなさい。私たちはあの者が罪ある者であることを知っている」、「あのイエスはあなたにどんなことをしたのか。あなたの目をどうやって開けたのか」、「お前はあの者の弟子だが、我々はモーセの弟子だ。神がモーセに語られたことは知っているが、あの者がどこから来たのかは知らない」と言い、また繰り返し聞くのです。彼は「もうお話ししたのに、聞いてくれませんでした。なぜまた聞くのですか」と答えて、なお「あの方がどこから来られたか、あなたがたがご存じないとは、実に不思議です。あの方は、私の目を開けてくださったのです。神は罪人の言うことはお聞きにならない。しかし、神をあがめ、その御心を行う人の言うこと

はお聞きになります。生まれつき目が見えなかった者の目を開けた人がいると、一度も聞いたことがありません。神のもとから来られたのでなければ、何もおできにならない」と答えたのです。しかし、ファリサイ派の人たちはその素直な真実に耳を傾けません。「お前は全く罪の中に生まれたのに、我々に教えようというのか」と言い返し、彼を外へ追い出したのでした。彼は生まれて初めて、目が見える人たちの真実を曲げて見る様子を見て、言葉を失つたのではないのでしょうか。

安息日に「土をこねた」とつまずき、主イエスを断罪していましたが、「土をこねて目を新しく創造する」、これは神のほかできない神の業、指導者たちは莊嚴な業に対し、ひれ伏すことも、恐れを抱くこともなかったのでした。彼らは単にイエスという男を妬み、否定したいだけなのです。なんと盲目なことでしょう。

主は盲人だった人が「追い出された」とお聞きになり、真実ゆえに迫害され、ご自分の名のために追い出された彼のところへ来られました。殺氣漂うファリサイ派の中であつても、主は命の危険など忘れ、素直なご自分の羊のために来られる方です。主は彼に言われました。「あなたは人の子を信じるか」と。彼は自分の目を造られた方を見たことがないのです。しかしその声で分かりました。「主よ、その方を信じたいのですが」、「あなたはもうその人を見ている」と聞くと、彼は「主よ、信じます」と言つて、主の前にひざまずいたのでした。

見えるから見えているのではありません。目に見える事柄に捕らわれていた人々、人を身勝手に罪人と決めつけ、盲人にある神に喜ばれる「真実で直ぐな心」を見ることもなく、キリストへの妬みや自分の目の好き嫌いに捕らわれ、神の御子を見ることも、神の偉大な業を見分けることもできませんでした。何よりも何も見えないその自分自身のことを見ることができなかったのです。しかし、自らを見えていると思う。それが人の闇、人の罪の状態です。

2023年度

教 会全体課題

日々聖書に聴き、

御言葉に従って歩む。

2023年度

心に刻む御言葉

生まれたばかりの乳飲み子のように、混じりけのない霊の乳を慕い求めなさい。これ飲んで成長し、救われるようになるためです。

(ペテロの手紙一 2章2節)

《詩篇119編を読む》

協会共同訳

コフ（ヘブライ語の第19番目の

アルファベット名称）この

145節〜152節はヘブライ

語聖書でツアデから始まっ

ている。）

一四五

心を尽くして呼びかけます。

主よ、私に答えてください。

私はあなたの掟に従います。

一四六

あなたを呼びます。

私を救ってください。

一四七

あなたの定めを守るように。

夜明け前に起き、助けを求めて叫び

一四八

あなたの言葉を待ち望みます。

私は夜回りより前に目覚め

一四九

あなたの仰せを思い巡らします。

あなたの慈しみにふさわしく

一五〇

私の声を聞いてください。

主よ、あなたの裁きに従って

私を生かしてください。

一五一

悪だくみを抱いて

私を迫害する者どもが近づきました。

彼らはあなたの律法から遠く離れています。

一五二

主よ、あなたは近くにおられます。

あなたの戒めはすべて真実です。

一五二

あなたの定めによって

私がかねてよりわきまえています。

あなたがそれとこしえに

決めおかれたことを。

《今日のお知らせ》

○ 礼拝後、一二時三〇分より定例役員会を地下ホールで行います。役員の方はご出席ください。

○ 受難節に入りました。この一年、受けた恵みを原稿用紙二枚（八〇〇字）以内でお書きいただき、ご提出ください。メールでの提出も受け付けます。アドレスは Tent@gloria-chapel.com です。

《ぶどうの会より》

○ 礼拝後、ぶどうの会をカナンルームで行います。

《今後の予定》

○ 三月 三日 総会準備のための教会員懇談会

○ 三月一〇日 定例役員会

○ 三月一七日 三月教会総会

《今日の讚美歌 現代語訳》

讚美歌 93番

1. 御神の御恵みに思いを巡らすと
嬉しさに満ちあふれて歌いたくなる
2. 迷う時には道を示し
おごり高ぶる時には戒めてくださる
3. この身にあまるほどの御慈しみが
幼い頃からますます積もる
4. 積もりに積もった御恵みを
この世でも天の国でも歌い続けよう

《事務所より》

状差の整理をお願い致します。

配布資料等が入らない場合があります。今後、総会資料など配布するものが増えますので、ご協力をお願いいたします。



《今日の子ども礼拝》

説教 「一番になりたい人は」

聖書 マタイ20章17〜28節

説教者 吉村和雄 名誉牧師

《次週の礼拝》

● 子ども礼拝 (午前9時20分・地下ホール)

説教 「ナルドの香油を」

聖書 ヨハネ12章1〜12節

説教者 宮間彰広 兄

● 主日礼拝 (午前10時30分)

讚美歌 138番 140番

説教 「わたしはよい羊飼いです」

聖書 ヨハネ10章1〜21節

説教者 黄允湜 牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 137番 93番
説教 「全ての人の後になり、
仕えるものになりなさい」
聖書 マルコ9章30～37節(新約 P.79)
司式 石川 一兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 宮間 彰広 兄

前奏曲「カンタータ56番より」

(遂に、遂にわがくびきから) J.S.B. ッハ

○ 讃美歌137番

1. かちうたうたいて 勝利をいわえ
世界のすくいを 十字架の上に
成しとげたまいし 主をほめまつれ
2. 木の実をくらいし アダムの罪を
にないてわが主は 苦しみなやみ
木の実ののろいを 除きたまえり
3. すくいのみわざに ほろぼす者の
たくみもあとなく うち破られて
十字架はすくいのもととはなりぬ
4. とうとき十字架よ 世にたぐいなき
けだかき恵みの 花咲く木より
すくいのかおりを ゆたかにはなて

アーメン

○ 聖歌隊による讃美

「世の罪を」 R.スレイダ - 作曲
世の罪を負いて主は
十字架につき給う
救い主 わが主イエス
その死こそわがため
われらを罪より贖(あがな)うためにぞ

主は十字架につき死に給う
救い主 わが主イエス
その死こそわがため

十字架こそわが救い
流されし血によりて
われら救われたり
この深き愛にこたえて
すべてを捧げん主のため

十字架こそわが救い
主イエスこそわが救い
主のために われら生きん

○ 讃美歌93番

1. みかみのめぐみをおもいみれば
うれしさあまりて うたとぞなる
2. まよえるときには みちをしめし
おごれるときには むちをたまう
3. この身にあまれる みいつくしみ
おさなきときより いやつもりぬ
4. つもりにつもれる みめぐみをば
この世に、かの世に うたいつづけん
アーメン

聖餐曲「アダムの罪により」 J.P.スウェーリンク

後奏曲「アレグロ ロ短調」 J.G.ヴァルター

※ 礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。